

保育おおさか

平成20年度5月1日 第393号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

平成20年度ごあいさつ

在宅含む子育て家庭への支援施策を積極推進

大阪府健康福祉部児童家庭室長 中野 昇氏



児童家庭室長の中野でございます。昨年、再び児童福祉行政に携わることになり、改めてその責任の重大さを噛み締めながら、子どもたちや家庭の福祉の推進に取り組んでおります。

児童家庭室長の中野でございます。昨年、再び児童福祉行政に携わることになり、改めてその責任の重大さを噛み締めながら、子どもたちや家庭の福祉の推進に取り組んでおります。

家庭を社会全体で支えていくとの観点に立つて、保育の質の向上はもとより、在宅で子育てを行う家庭を含むすべての子どもと子育て家庭に対する様々な施策を積極的に推進してまいります。

誰かが知っている「うさぎとかめ」の寓話は、油断するな、自惚れるな、人を見くびるな、といった教訓話だと思っていたが、最近、それだけではなくもっと深い意味があったのだと知りました。テレビ番組と、「食育」で有名な坂本廣子さんの本でたて続けに二通りの解釈に遭遇しました。

新保育指針踏まえ期待高まる保育所の役割

大阪府健康福祉部児童家庭室子育て支援課長 小原 理恵氏



子育て支援課長の小原でございます。本年3月に下の子が保育園を卒園し、保護者として保育所と関わる機会が多くなつてまい、少し寂しい思いをしております。改めて保育所のありがたを実感しているところです。

不安や悩みを抱える保護者の増加、養育力の低下などにより、子どもと親の双方にとつて、子育て・子育ての最初の時期を支える重要な役割を担う保育所への期待は益々高まっております。

ともいえる存じます。国では、新しい指針を踏まえ、保育の質の向上に向けた取り組みを一体的・計画的に推進するため、今後、研修や自己評価などのガイドラインを示すなど、保育所における取り組みの充実・強化を支援していくこととしてまいります。

大阪府においても、こうした国の動向を把握し、市町村とも連携しながら、施策を展開してまいりたいと思っております。今後とも一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

保育部会の皆様には、日頃から本府児童福祉行政の推進に格別のご協力をいただき、紙面をお借りしてお礼申し上げます。さて、昨年末に取りまとめられた『子どもと家庭を応援する日本』重点戦略では、「仕事と生活の調和と実現」と「包括的な次世代育成支援の枠組みの構築」を速やかに図ることを必要としており、今後、国において、様々な取組みが進められることが予想されます。

こうした中で、保育・子育て支援の分野におきましても、サービスの量の拡大はもとより、様々な働き方に対応した多様な柔軟な保育の提供や、在宅子育て家庭へのきめ細かな支援等が求められると考えており、地域の

保育・子育て支援の核である民間保育所に期待される役割は、ますます高まってまいります。大阪府としても子育てすべての子どもと子育て

家庭を社会全体で支えていくとの観点に立つて、保育の質の向上はもとより、在宅で子育てを行う家庭を含むすべての子どもと子育て家庭に対する様々な施策を積極的に推進してまいります。

大阪府においても、こうした国の動向を把握し、市町村とも連携しながら、施策を展開してまいりたいと思っております。今後とも一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



地域貢献事業人材養成研修 一概要編一

生活の場からの 声に耳傾けよ

関係機関と連携し、いきいき
した地域社会を創造へ



小野達也さん

①地域福祉の歴史的背
景と現状を理解する

地域貢献事業の担い手として育児相談員が活動するための研修が2日間(3月中・下旬)にわたって実施されたことは先月号でお伝えしましたが、具体的な研修内容は4つのテーマを柱に進められました。それぞれの概要は次の通りです。

講師は府立大学、小野達也准教授、題して「地域福祉入門」。



佐藤貞良さん

「福祉」の語源は「幸せ」であり、皆が幸せになることが福祉の目的。社会福祉の中心は地域福祉だが、「地域の福祉」ではなく「地域による福祉」へと変わってきている。

地域福祉は生活問題を主とし、生活と社会制度を結び基本的要求を解決することである(例えば、おなかをすいたマーカーで弁当を買う)。生活問題はこの社会制度が使えない時に生じ、当事者だけで解決できない時に支援の必要性が生まれる。「支援(援助)」とは切れてしまった社会関係をつなぎなおすことにある。小野准教授は「生活の場からの声に耳を傾けることが重要で、地域貢献事業は保育というフィールドを足場に、みんながいきいきできる地域社会を創ること」と強調された。

②地域にはどのような人々が支援を必要としているのか

講師は関西福祉科学大学の佐藤貞良准教授、テーマは「社会的な支援を要する人々への支援について」。

これからの社会福祉法人は住民に支えられた「特別な法人」への脱皮、再生が求められる。そのためには新たな「公」として、地域のニーズに先駆的・開拓的に取り組み公益性の高い事業を展開すること。公益性の高い事業とは制度、サービスが行き届いていない福祉問題への対応、つまり社会的な支援を要する人々への支援が重要である。

佐藤准教授は、ホームレス、ハンセン病元患者の手記なども紹介、「地域には様々な問題が存在しているが、保育園だけですべてを解決することは困難。関係機関と連携し活動することが大事」と締めくくられました。

「制度・サービス・社会資源へのつながり」と題し、社会保障制度を中心に解説。

奥村氏はまず憲法25条(すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する)は国の考える生存権の定義であり、それを具体化したものが生活保護法であると指摘。今後、地域貢献事業を進めていくうえで関係してくる機関一覧を資料に、無料低額診療事業や社会保障制度についても説明されました。

特に生活保護制度については、研修参加者自身も実際に、保護費を自分で計算するなど演習を取り入れた講義が行われました。



157名が参加

④老人部会がすでに行っている地域貢献事業の実例報告

大阪府社会福祉協議会の社会貢献支援員から、老人部会が取り組んでいる社会貢献事業について事例が報告され、様々な制度の狭間の問題があることを明らかにされました。



奥村晴彦さん

本紙に掲載している「保育園における地域貢献事業」について、上記人材養成研修を受けた方を対象に、今後事業を推進する人材のネーミングの応募を受け付けましたが、再度、全会員保育園からの応募受付を行っています。

○イメージ：子育て相談に加え様々な悩みを抱えた方への相談や支援、関係機関・団体への「つながり」を行うなど事業の核を担う人材にふさわしいネーミングをつけてください。

●地域貢献事業準備委員会●

ネーミング募集いたします

募集期限：平成20年5月16日(金)

応募方法：①保育園名 ②氏名 ③応募ネーミング ④ネーミングの理由を明記の上、保育部会事務局(大阪府社協施設福祉部)までFAXまたはEメール。

○応募先：保育部会事務局
FAX 06-6768-2426
E-mail: hoiku@sakafu-syakyu.or.jp

○発表：保育部会役員が審査を行い、平成20年度保育部会総会で発表します。(予定)

相談員のみならず、地域貢献事業の重要さを改めて実感されたようで、今回の研修が大変内容の濃いものであったことが伺われます。

2日間の研修参加者は計157名。未受講の育児相談員の方も多いと思われる研修会には是非参加し、地域貢献事業に尽力していただきたいと思えます。

(保育園平和の園 N・S)



みんなで手作りおやつ

当園は大阪の南東部・柏原市にあり、ぶどう畑に囲まれた自然いっぱいの保育園です。昭和24年に開設、現在、0～5歳児まで142名の園児が在園しています。

「いつも明るく、いつも正しく、いつも仲良く」を保育理念とし、「大人も子どももいつも元気でニコニコと」を標語にし



「国分保育園」—柏原市

シリーズ 食育

「食すること」の大切さを“体感”
—米作り、野菜栽培、魚の解体など—

平成9年度に「食」をテーマに作品展を実施し、わが園での食育への取り組みが始まりました。

毎年、年長児は自分たちが植えたいと思う野菜を決め、園庭の花壇やプランターを利用、キュウリ・ピーマン・トマトなどを栽培します。土作りからがけ、収穫した野菜はバーベキューなどで楽しみます。2年前から園庭に大鍋を据えカレーを作っていますが、皮むきや種とり、配膳など子どもたちもお手伝いをします。自分たちで育てた愛着からか、苦手な野菜



ブリの解体にくぎづけ

も好んで食べる姿が見られ、保護者の方にも喜ばれています。

毎週1回の手作りおやつは、みんなでクッキー・お団子・スイートポテト作りに参加し、2歳児も上手にお団子丸め。

また、昨年度は初めてお米作りにチャレンジしました。ライスマスターのお米屋さんで稲刈りや稲もみ、脱穀の仕方を教えてもらい、お米作りの大変さ、お米一粒の大切さを学びました。秋に収穫、みんなでおいごりを握って楽しいパーティー。

この2月には、おせちでいただいたブリの解体実演をお魚屋さんにお願

いし、大きな魚体が次々と切り分けられていく様子に子どもたちの眼差しも真剣そのものでした。

園庭開放の方々には給

食試食会や手作りおやつを紹介、保育園で人気のあるメニューを提供し、毎回好評を得ています。

飽食といわれる現在、物の命を食することで生かされていることを子どもたちにも感じて欲しいと思います。それは体感していくものでしょう。

大人になり家庭の団欒に繋いでいくために保育園の役割と責任は大きい。保護者との連携を保ちながら、食を通じ日本の文化を伝えることも役割の一つと考えています。

(国分保育園 Y・T)



大阪府農林会館に287名が参加

また、「保育所保育の現状とこれからの課題」と題して講演された頌榮短期大学の戸江茂博教授は「ケアされる人からケアする人へ、他者のことを考えて動く、保育はその極に位置している」と指摘したうえで、保育士は日々、保育の中で考えながら動き、動きながら実

ナリの基本は、自分の「常識」と他者の「常識」の違いを認識、相手の立場に立ったサービスマナーを実践することが大事と述べられ、「上司や先輩に叱られるのは愛されている、期待されていることだ」ということを胸に頑張ってほしい」と激励されました。

実践を振り返るというやや特殊な専門職であり、子どもに生身に触れる責任のある専門職でもあると強調されました。

締めくくりは大阪府保育士会の武内茂子名誉会長の「専門職としての保育士にむけて」。自らの体験から子育ての唯一の専門職である保育士の専門性について述べられ、学校で学んだことは基礎に過ぎない、仕事を通じてその基礎にいろんな色を一つずつ付け加えて綺麗に仕上げ、先生と呼ばれるに値する仕事、活躍、子どもたちへの対応を実践してほしいと訴えられました。(事務局)



真剣に聞き入る新任職員

「期待されている」から叱られる
仕事を通じ自分を磨く

新任職員を激励—保育部会新任職員研修会

新任職員研修会が3月27、28の両日、大阪府農林会館と大阪社会福祉指導センターで開催され、2日間合わせて474名が参加されました。

研修会ではまず、人材育成コンサルタントの増田知乃氏が「保育士に求められるマナーの実践」をテーマに講演。保育士

ブロックだより

平成20年度の各ブロックによる研修等の事業計画です。

北摂

4月7日 役員会
5月19日 総会、研修会、懇親会
5月25日 第29回職員運動会
6月6・7日 職員研修会(キャンプ等野外活動)
8月 職員納涼研修
10月 役員会、職員研修会、園長研修会

11月 年末研修会、懇親会
12月 第27回職員バレーボール大会
1月 職員研修会
3月 職員研修会(1・2年目マナー・コミュニケーション)

北大阪

4月22日 役員会
6月2日 役員会、総会、理事長・園長研修会(国の動向)、懇親会
7月下旬 役員会、第5回子育て支援研修会

河内(八尾市)

6月 保育士研修会
8月 園長・理事長研修会
11月 保育士研修会
1月 保育士研修会
2月 東大阪市私立保育会との連絡会

河内(東大阪市)

(保育士研修)

南大阪

5月17日 保育士研修(音楽・レクリエーション)講師・山地寛和氏
6月14日 保育士研修(鍵盤ハーモニカ・合奏指導法)講師・山地寛和氏
6月27日 大運動会
6月 職員一泊研修
10月 保育士研修会
11月 保育士研修会(絵画)

保育園をたずねて

361

貝塚市
ピアニ道教寺

担当制のノウハウ

生かした施設づくり

ピアニ道教寺は平成19年4月、120人の定員で開設されました。社会福祉法人パールティ道教寺の姉妹園です。

場所は貝塚市のなかでも田んぼの多い田園地域で、周囲の雰囲気はのどか。また園庭には芝生が敷き詰められ緑豊かな環境にあります。



きめ細やかな保育を目指し、乳児の担当制保育がすすめられています。担当制について

当園についてはパールティ道教寺で以前より取り組まれているものです。そのノウハウの蓄積を生かし、当園でも設計など担当制を目指した施設づくりを心がけておられます。さらに、園内だけではなく地域との関わり、特に子育て支援として「ピアルーム」を定期的に開催するなど、今後、時間をかけ地域に根ざした保育園を目指されています。(編集委員 N・N)

堺

5月15日 「行事を楽しむテクニク」
6月19日 乳幼児研修
7月18日 「子どもの健康」
9月8日 リズムあそび
11月6日 「体力づくり」
11月中旬 児童虐待についての研修
12月5日 「リズムを楽しむ、絵本の読み聞かせ」
12月11日 「子どもへのことばかけ」
1月23日 「気になる子どもへの対応」

泉州

6月6日 総会・研修会・懇親会
10月下旬 園長府外研修(保育士研修)
5月17日 総会・記念講演「豊かな心を育てよう」講師・原田彰氏

あの人

最長年、府児童家庭室子育て支援課・課長補佐としてご指導いただいた新生隆信さんが3月末に退職され、府内でも園・堺市立百舌谷こども園の「堺市立こども園保育所」(業務委託・阪南福祉事業)の施設長代理に転身されました。慣れない保育現場の業務関係事務を中心に奮闘中で、元同僚からの遊びの誘いも断つて頑張っておられるようです。保育所の建物は新築ですが、公立保育所仕様でトイレが民間とは違う仕様だったり、手洗いが手の届かない高さにあたり。新生さんは、頭を打たないようにとホームセンターでクッション材を買ってきてコーティングをしたりと、得意の工作技術を活かしケガの防止に努めておられます。立場が180度変わりましたが、今後は行政に対し、保育現場の実情を理解していただくための良きパートナー、頼りになる仲間として大いに期待をしております。(H・N)

発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部 協議会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男 勲
編集人 永 宮